

平成29年度地方創生ストリートミーティング【首都圏若者編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
1	就職活動するうえで、交通費がかかる。交通の便も悪いので、何かしらの支援を考えてほしい。	新たな就職支援制度として就職活動に要する交通費の助成を検討します。 ※平成30年6月議会に計上しています。	地域振興課
2	就職先はベンチャー企業を狙っている。地方はベンチャー企業が少ないイメージだが、鳥取の状況はどうか。	起業への支援としては、制度融資としてメニューを準備している創業支援資金、空き家・空き店舗のマッチング支援、大型空き店舗入居事業者に対する補助、クラウドファンディングによる資金調達支援などを行っています。 さらなる起業促進に向けては、民間まちづくり事業者に対する投融資制度などを新たに創設する予定です。	経済・雇用戦略課
3	観光面など東京にすごく強いアプローチできる武器が必要と思う。また、東京で鳥取の話をしてピンとこない。SNSを活用したPRをしたほうがよい。	本市では、鳥取砂丘や砂の美術館など世界的に評価が高い観光資源を中心に観光プロモーションや知名度アップキャンペーンを展開しており、国内外から観光客が増加傾向にあります。この他にも、ギネス認定された世界最大の傘踊り「鳥取しゃんしゃん祭」や鳥取和牛、松葉がになど優れた観光資源はたくさんありますが、その魅力があまり認知されていません。今後、これらの観光資源の磨き上げを行うとともに、SNSや全国ネットTVによる魅力発信を強化し、鳥取の認知度を高めてまいります。	観光戦略課 広報室

○その他意見

- ・地方創生に興味があり、「地方創生」でウェブ検索したらITで鳥取を元気にするLASSICという会社がヒットした。説明会に参加し、Skypeで面接するなどして、内定をいただいた。
- ・地元に戻って何か貢献したい。
- ・地元に戻り、6次産業的なカフェなど、農業で起業したい。
- ・起業するには魅力的なまち。東京と比べると鳥取の方が起業しやすい。
- ・地元の人が地元の良さをわかっていない。自分も鳥取に居るときは分からなかったが、外に出てみてわかった。